



夢を持って新しい年を！

校長 倉岡 ナオミ

昨年はいろいろなところで、御支援、御協力をいただき、皆様のおかげで、無事に教育活動を進めることができ、こうして新しい年を迎えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

昨年の4月より新しくペア学年での活動（ニコニコ学年活動）を取り入れ、2学年での関わりを深めることで、相手を思いやり互いの良さを認め合ったりする心を育ててきました。行事だけでなく学習での学び合いなどにも広がり、ある程度の成果が見られたのは嬉しいことでした。また、「心かがやく笹小キッズ」の合い言葉のもと、子供たちの心を輝かせる活動が、日常に定着しつつあることも感じており、学校全体が落ち着きのある姿を見せています。教職員も日々子供たちのために協力して、教育活動を進めておりますので、いろいろな機会に是非、学校に足を運んでいただき、実際に見ていただきたいと思っております。また、お気付きの点もお知らせください。

さて、2016年、新年おめでとうございます。新しい年の始まりです。今年は丙申年で、60年ぶりです。調べてみますと、60年前の1956年には、神武景気があり、もはや戦後ではないと戦後の復興が明確に示されました。また、国際連合に加盟したり、横浜が政令指定都市になったりと、形が明らかになっていく、実が固まっていくという年でした。これまでの頑張りが形になっていく、今まで評価されてこなかったことが評価されることもありました。今年もそんな年であってほしいです。申という字には「伸ばす」という意味があり「草木が十分に伸びきった時期で実が成熟して香りと味が備わり固く殻に覆われていく時期」と言われています。さらに、申を「去る」という意味にとらえて「悪いことが去る」「病が去る」などいいことや幸せがやってくる年とも考えられます。考え方一つだと思いますが、全て良くなっていくととらえ、夢をもって新しい年をスタートしたいと考えています。

学校としては、今まで通りに地道な努力を重ね子供たちにとってよりよい教育活動となるように工夫、改善を考えていきます。

昨年同様、御理解、御支援をいただきますようお願いいたします。

